

令和7年度 学校評価シート(教職員)

【結果】

様式新規R4

回答人数 31 人

【目指す学校像】

学習活動を通して個人の能力を充分伸張させ、勤労愛好と協同一致の精神を育成し、「知」「徳」「体」のバランスのとれた生きる力を身につけ、社会に対する適応力のある人材を育成する学校。

【育てたい生徒像】

産業技術人として肝要な合理的、科学的、創造的精神を最大限に伸ばし、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んじ、将来の生き方や在り方を探求することが出来る、有能で誠実な産業人として心身ともにたくましい生徒。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

* 右側の達成度の空欄に○印をご記入ください。(12項目あります)

自己評価(分析、計画、取組、評価)

計画・取組				達成度			
番号	重点目標	具体的取組	評価項目と評価指標	A	B	C	D
1	授業の充実・改善を行い、主体的な学習習慣と確かな学力の定着を図る。	研究・公開授業に積極的に取り組む。また、研究協議を実施し、授業改善への意識向上を図る。	教員間で自主的に「授業づくり」を学び合う意識を高め合い、学期に1回は教員間で参観授業を行うなど、日常的に授業改善や工夫ができたか。	11	14	5	1
		生徒が主体的に学び、「分かった」「できた」「挑戦した」を実感できる授業(ICTの授業活用等、様々な授業手法を積極的に活用する)を構築する。	授業のねらい、評価基準を明確にし、生徒に示した上で、理解しやすい授業展開ができたか。また、各教科において評価基準の見直し、生徒へのフィードバックができたか。	7	22	2	0
		特別支援教育の観点をはじめ、多角的な支援体制を構築する。生徒の行動変容「良い言動」が増えるように支援を考える。	生徒理解を深めるとともに、生徒の情報共有を行いつつ、個々の生徒に最適な対応ができたか。	4	22	5	0
2	基本的な生活習慣を確立させ、心身の成長と規範意識の向上に努める。	登校指導、校門指導、担任と副担任によるSHR時の身だしなみ指導、下校指導などを年間通して行う。	個々の生徒に対し組織的に粘り強い指導ができたか。また、問題行動を繰り返す生徒の割合が昨年度より減少したか。	6	15	10	0
		教科指導や教育相談など、様々な機会に生徒指導に取組、規範意識や人権感覚の向上を目指す。	すべての教育活動を通して、規範意識や人権感覚を身につけることができたか。	9	15	6	1
		支援を必要とする生徒や保護者等に対し、各科を中心に組織的な支援や対応を行う。各学年を中心に、ケース会議を持ち、生徒の情報共有する。	各科を軸に、直接的・間接的な支援ができたか。また、外部の関係機関とも連携できたか。	8	17	6	0
3	職業意識の涵養を図るため、継続的に計画された「キャリア教育」の充実に努める。	生徒が自身の生き方・在り方を模索する中で、進路ガイダンス・キャリア講演会等の実施により、進路目標を持たせ、進路実現に向けた指導や準備を推進する。	進路意識向上に向けた個人面談を年間3回以上実施し、生徒の目標達成のために個別支援ができたか。	5	22	3	1
		「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を積極的に推進し、地域産業を担うリーダーシップを発揮できる人材育成を目指す。	日々の実習や課題研究における学習活動・教育活動等を通してリーダーシップが発揮できる人材育成に取り組めたか。	6	20	4	1
		就職後の会社訪問による激励等、定着率を高める取組を強化する。	個々の生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成できたか。	4	24	3	0
4	工業高校として特色ある学校づくりを推進し、地域連携や地域の企業等と連携を密にして、産業を支える人材の育成を図る。	地域や社会の発展を担う職業人を育成する。	学習内容の充実を図り、職業人として必要な知識・技術・資質・能力を育成するための授業実践ができたか。	6	20	4	1
		各学科において、生徒に各種資格取得に向けた取り組みを実施し、資格取得率の向上を図る。	各種資格試験取得に向けた補習等を実施し、個々の生徒が1つ以上の資格取得ができたか。目標:合格率・資格取得率60%以上ができたか。	5	12	9	5
		生徒・教職員が本校の魅力を見直し、その魅力の発信により保護者・校友会・地域との信頼や連携を深める。	発信を適時行うことにより、生徒たちが取組組んだ活動を積極的に発信されたか。	4	17	6	4
				13%	55%	19%	13%